



徳島県立総合高等学校広報紙

まなびーあ徳島便り

第5号
編集・発行
徳島県立
総合高等学校

戦国天下人「三好長慶」

DVD完成試写会、記念講演会を開催

平成24年12月9日(日)

徳島県自治研修センターで、「戦国天下人三好長慶と天下一茶人千利休」と題した記念講演と、「戦国天下人三好長慶・戦国三好一族」DVD完成試写会が行われ、約230名の歴史ファンが参加しました。

■戦国天下人三好長慶とは

三好長慶は、1522年三好市三野町芝生で三好元長の長男として生まれまし

て生まれました。

織田信長が天下人となる以前の20年間(1549年〜1568年)阿波・讃岐・淡路に兄弟及び三好一族を配置し、力を合わせて畿内(京都・大阪)を支配し勢力強化を図りました。また、阿波を本拠にしていた弟の三好義賢(実休)は姻戚関係があったとされる堺の千利休と交流があったことから、阿波勝端三好館に堺の茶人、今井宗久らを招き盛大に茶会が開かれた事が「今井宗久茶湯書抜」に記録されています。

■勝端城館・三好館跡を歴史公園に!!

平成6年より発掘調査が行われ、建物・庭園跡などが確認されました。



●講師略歴●

いずみ やすお
出水 康生 氏

1938年8月1日小松島市田野町生
神戸大学文学部卒業後37年間、徳島県立高校の教師を務め、大阪文学学校に学ぶ。NHK文化センター(徳島)・徳島県シルバー大学校講師。三好長慶会代表



三好長慶講演会の様子

■三好長慶を大河ドラマに!

文化庁・徳島県・藍住町が三位一体となり、広大な城館跡の西半分を復元し、平成25年度中には公園になる予定です。

講師の出水氏は、徳島が全国に誇るべき武将の歴史を再認識し、世に広めたいとドラマ化の実現に活動しております。

■講演の感想

阿波と畿内の文化交流の歴史と天下人として一時代を築いた三好長慶と三好一族の活躍の歴史をあらためて認識することが出来ました。

■「戦国天下人三好長慶・戦国三好一族」DVD完成試写会

天下人と言われながら余り知られていない三好長慶の足跡をわかりやすく解説したDVDの完成試写会が開催されました。

DVDは、徳島県立総合高等学校のHP・インターネット放送局で見ることが出来ます。



とくしま学博士の論文発表表



圓藤信代さん

特別講演に先立ち、とくしま学博士圓藤信代さんによる「津田山探訪・津田城から考える三好義賢」と題する論文発表がありました。

徳島県立総合高等学校

平成二十四年度

奨励賞交付式



総合大学校長(飯泉知事)からの認定書交付



奨励賞受賞者

とくしま学博士認定者	5名
学部エキスパート	136名
健康福祉学部	(56名)
情報通信学部	(79名)
生活環境学部	(1名)
奨励証	537名
3500単位 特別賞	(1名)
3000単位 特別賞	(1名)
2500単位 特別賞	(1名)
2000単位 特別賞	(2名)
1500単位 特別賞	(1名)
1000単位 特別賞	(5名)
総合大学校長賞(500単位)	(15名)
しらすぎ賞(400単位)	(13名)
やまもも賞(300単位)	(16名)
すだち賞(200単位)	(16名)
まなびーあ賞(100単位)	(466名)
合計	678名

平成24年11月1日、徳島県立総合教育センター(板野町)において、「県立総合高等学校 平成24年度奨励賞交付式」が行われました。満員となった会場で、とくしま学博士や学部エキスパートなどの受賞者の皆さんに、知事から認定証が贈られました。3500単位で特別賞を受賞された鈴木秀夫さんには、驚きと賞讃の声が上がっていました。

その人たちを目標にしてこれを期にもっと頑張り、自分自身の向上に繋げていきたい、その様な決意を新たにさせる交付式でした。

交付式に続き、映画「沈まぬ太陽」などの作曲で知られる小松島市出身の音楽家、住友紀人氏の「自分を信じて 自分らしく」と題する記念講演が行われました。その後、高校時代の同級生の方がシンセサイザーの応援に駆け付け、待望のサクソフォンの演奏となり会場全体が感動に包まれました。



住友紀人氏

講座紹介コーナー(5)

期日	内容	講師
平成25年1月12日(土)	これからの地域コミュニティについて考察する	徳島大学開成実践センター教授 馬場 祐次朗 四国大学短期大学部教授 日開野 博
平成25年1月26日(土)	これからの地域の国際化について考察する	徳島大学国際センター教授 Gehrtz 三隅 友子 藍住町国際交流協会会長 友滝 洋子
平成25年2月9日(土)	これからの地域の活性化について考察する	徳島大学院シニア/サイエンス研究部助教授 真田 純子 四国大学経営情報学部助教授 西口 真也
平成25年2月23日(土)	これからの地域づくりについて考察する	〈有〉環境とまちづくり代表 澤田 俊明 徳島文理大学総合政策学部教授 玉有 繁

県立総合高等学校本部主催講座
地域未来学講座
〜未来の徳島を創造するために〜

平成25年1月から2月にかけて、徳島県立総合教育センター(板野町)で、「地域未来学講座」が開催されました。いろいろな分野から、約30名の参加者がありました。

■地域未来学講座の目的
この講座は、「あなたの参加で地域が生きる。徳島が元気になる!」のテーマのもとに、徳島の未来に強い興味を持っている人が集い、徳島の進むべき道を様々な角度から検討しながら、「地域の活性化や未来に向けた特色ある地域づくり」の目的を達成する。

■参加者の感想
一般的に、講義・講演を聞くだけの講座が多いが、参加者が話し合いをするという形は初めてで大変新鮮な印象を受け、良かったです。

●全体的に、「向こう三軒両隣」の人たちとの日常的な付き合いが、疎遠になっていく傾向があるようです。何か起きた時、お互いの協力ができやすくなるように、「きずな」をどう育んで行くか、今後の課題のようになっています。



とくしま学博士に聞く(5)



プロフィール 脇川弘さん
 S15年徳島市生
 民生児童委員
 シルバー大学校 徳島校
 OB会 研修部長
 元アルス製作所 設計部長
 元竜王団地 自治会長

平成22年度認定
とくしま学博士

脇川 弘 さん

◆とくしま学博士を
目指した理由は◆

自治会の会長を務めるにあたって、地域の環境等の知識を習得する目的で、シルバー大学校や徳島大学開校実践センターで園芸の技術や行政環境等の講座を受講しました。その結果、早い段階で500単位になり、とくしま学博士を受験し、認定されました。

◆現在どのような
活動をしていますか◆

放送大学と県立図書館が主催のまなびの森講演会において「吉野川の橋」と題して論文発表をしたり、健康の為に始めたウォーキング



の指導免許を活かして、地域のグループ及び県民参加型自主講座でウォーキング講座の講師をしています。

または、自治会の会長として、テレビの地デジ化に伴い電波事情の悪い自治地域のアンテナ設置において県に働きかけ苦難を乗り越え実現しました。又高齢の人が多い自治の環境を配慮し「ふれあいの会」と称し月1回講師を招いて勉強会や、食事会など、さまざまな集いの場を提供しています。更にシルバー大学校OB会では、四国八十八ヶ所巡りの研修部長として会のお世話などを行っています。

◆インタビューを終えて◆

様々なお話は興味深く、まだまだお聞きしたい事が山ほどありました。何をお聞きしても熟知されていて、感動することばかりでした。何事にも一生懸命で、度量の広い心豊かな優しいお方だと痛感しました。

県立総合大学校本部主催講座

「徳島大学農工商連携フォーラム」開催!

平成25年2月17日、阿波観光ホテルで、徳島大学と県立総合大学校本部主催の「徳島大学農工商連携フォーラム」が開催され、熱心な受講者約170人が参加しました。

【講演内容】

- フォーラムは、徳島大学の香川征学長と徳島県の斉藤秀生副知事の開会挨拶で始まりました。
- お二人の挨拶の中では、中四国9県で農学部のある大学を持たないのは徳島県だけであること
- 教育・研究部門の農工商連携・6次産業化の推進を目指して、徳島大学と徳島県が連携・協力し、平成24年4月に徳島大学農工商連携センターを創設したこと
- 今後、農工商連携センターの充実強化を図っていくことなどが紹介されました。

演 題	講 師
「徳島大学農工商連携センターの取り組みについて」	徳島大学理事・副学長、農工商連携センター長 野地 澄晴
「6次産業化に再挑戦」	徳島県園芸取組推進員 竹内 勝
「農工商連携・6次産業化の実践」	さいさいグループ代表・JAあちいまばり室長 西坂 文秀
「地域活性化とアグリビジネス～6次産業化の意義と可能性」	野村アグリプランニング&アドバイザー 取締役社長 西澤 隆

その後、4人の講師が講演(別表参照)をされました。

まず最初に、徳島大学農工商連携センター長の野地澄晴理事・副学長が講演をされ、「生物・医学の最先端の技術を駆使し、研究を進めていくことは不可欠であり、研究を通して地域課題の解決に当たりたい。」と話されました。続いて竹内園芸の竹内勝取締役と、愛媛県で大規模な産直市を運営されている越智今治農協の西坂文秀室長が講演され、6次産業化の実践を通しての苦労や体験を話されました。

最後に演台に立った野村アグリプランニング&アドバイザー(株)の西澤隆社長は、「農業自身の生産額は8兆円程度だが、加工や販売などの関連事業を入れると80兆円にもなる。」と、農業ビジネス・6次産業化の可能性について講演されました。

【講演の感想】

農工商連携や6次産業化は、難しいことと考えるようになりましたが、今回のフォーラムに参加したことで、農産物の加工品や産直市など、私たちの身近に農工商連携や6次産業化があることを知りまし



講演者との質疑応答の様子

「学部再編のお知らせ」

（徳島県立総合高等学校本部）



平成25年4月1日から徳島県立総合高等学校「まなびーあ徳島」の学部を、次のとおり再編します。

1「防災減災学部」を新しく設置します。

防災教育の社会的ニーズが高まる中、防災減災対策の重要性に対応した学部として、従来の「危機管理学部」と「建設技術学部」を統合し「防災減災学部」を設置します。

建設技術学部 ●（茶色）
危機管理学部 ●（赤色）

防災減災学部 ●（赤色）

なお、今までの「建設技術学部（茶色）」と「危機管理学部（赤色）」で修得された単位は、新しくできた「防災減災学部（赤色）」の単位として引き継がれます。

2「総合政策学部」を新しく設置します。

徳島県の政策創造や地方自治に関する講座、また今までの「情報通信学部」の統計情報やICT等に関する講座を合わせ、新しく「総合政策学部」を設置します。

情報通信学部 ●（黄色）

総合政策学部 ●（黄色）

なお、今までの「情報通信学部（黄色）」で修得された単位は、新しくできた「総合政策学部（黄色）」の単位として引き継がれます。

3「男女共同参画学部」を新しく設置します。

県民ニーズの高い男女共同参画関連の講座について、単独の学部に対応する規模に充実が図られていることから、「生活環境部」から独立した「男女共同参画学部」を設置します。

生活環境学部 ●（薄紫色）
男女共同参画学部 ●（薄橙色）

生活環境学部 ●（薄紫色）
男女共同参画学部 ●（薄橙色）

なお、今までの「生活環境学部（薄紫色）」で修得された「男女共同参画」に関する講座の修得単位については、新しく設置する「男女共同参画学部（薄橙色）」の単位として引き継がれます。

他の学部については変更なく、学部数は従来通り8学部です。

※旧単位の取り扱い等、詳しくは県立総合高等学校本部へお問い合わせ下さい。
（TEL088-612-8801）
※●と○は単位認定シールの色を示します。

別表

平成25年4月「県立総合高等学校・学部再編」（赤）新設学部、青〓統合・分割する学部

再編前	再編後
教育社会学部	教育社会学部
建設技術学部	防災減災学部
危機管理学部	総合政策学部
情報通信学部	生活環境学部
生活環境学部	男女共同参画学部
文化芸術学部	文化芸術学部
健康福祉学部	健康福祉学部
産業経済学部	産業経済学部

「とくしま学博士」

「ニュース」



○歴代編集長がFM番組に出演

平成24年10月31日にFMびざんに放送された番組「B-STEP TALKING」に、ゲストとして「まなびーあ徳島便り」初代編集長・吉田明子さんと2代目編集長・上田泰生さんの二人のとくしま学博士が出演しました。パーソナリティのドレミファ曾谷さんの質問に答えていく形で進んだ番組の中では、「まなびーあ徳島便り」の紹介や、編集・取材に関するエピソードや苦労話を、両編集長が60分に渡って話されました。



左から上田さん、曾谷さん、吉田さん

○徳島大学でとくしま学博士が講義

平成24年11月、とくしま学博士の山上隆子さんと讃野由高さんが、徳島大学の教壇に初めて立ちました。2人が担当したのは、総合科学部の「地方行政経営論」で、山上さんは「徳島の天井絵遺産」について、讃野さんは「徳島の観光」についてそれぞれ講義を行いました。約150人の徳大生が熱心に耳を傾けました。



徳島大学での講義

《編集後記》

まなびーあ徳島便り第5号は、「広報紙作成講座」の23年度及び24年度受講者有志が編集に関わりました。各編集員がそれぞれ取材担当し、編集時には、「この文章は、もっと簡潔に書いてはどうか」、「順序を変えたらどうか」、「講演者の意図は何だろうか」など、真剣に話し合いが行われました。

こうして、みんなでいろいろな意見を出し合い、「それじゃここはこうしよう、この文章は削除しよう。」など、回を重ねるにつれ、文章がまとまってきました。

時には意見が白熱する場面もありましたが、笑いに包まれ、和やかな雰囲気の中で編集会議が進みました。こうして、編集が終わわり、第5号の発行に漕ぎつけました。

- 【編集委員長】 小宮山昭三生
- 【副編集長】 中島 美智代
- 【編集委員】 新井 義治、伊藤 花代子、上田 泰生、岡田 公子、折上 公子、谷崎 吉行、横田 千栄子



連絡先

〒七七〇-〇〇四五
徳島市南庄町五丁目七七七一
自治研修センター内
徳島県立総合高等学校本部
電話番号〇八八一六二一八八〇一
ファックス〇八八一六二一八八〇五
電子メール manaba@pref.tokushima.ac.jp
まなびーあ徳島ホームページ
http://manabi.tokushima-ec.edu.jp/